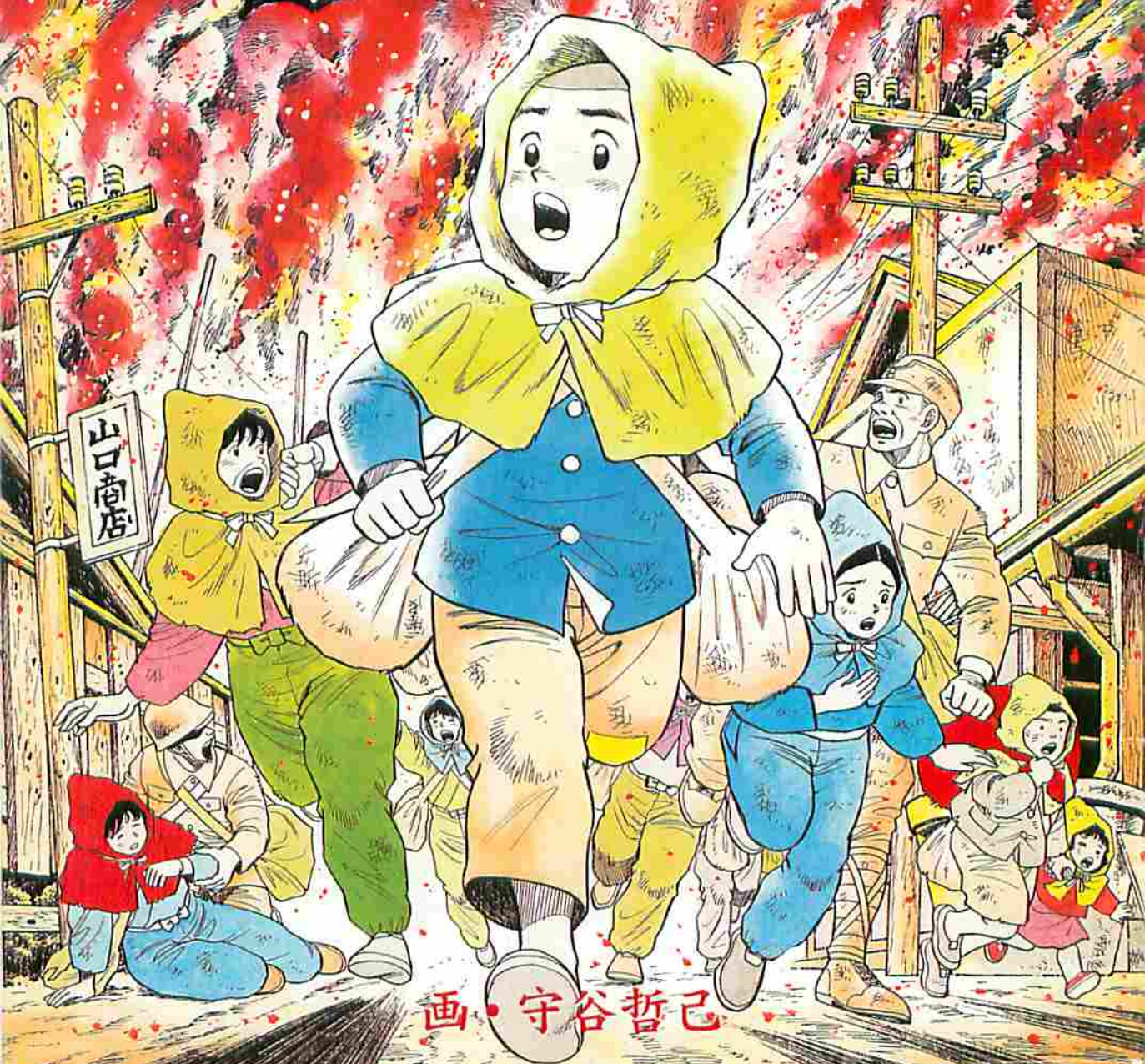


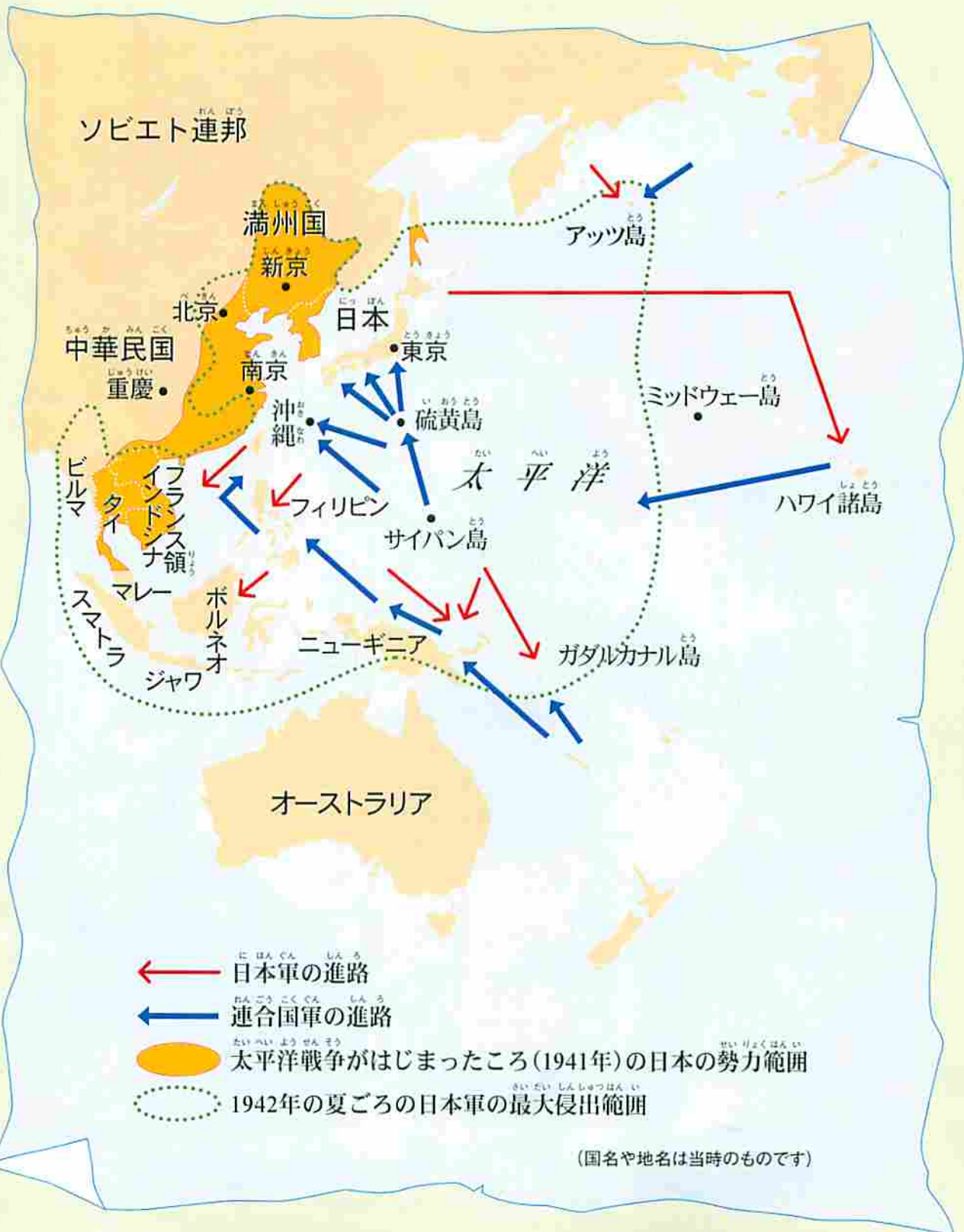
まんが子ども太平洋戦争物語

手渡された勇氣

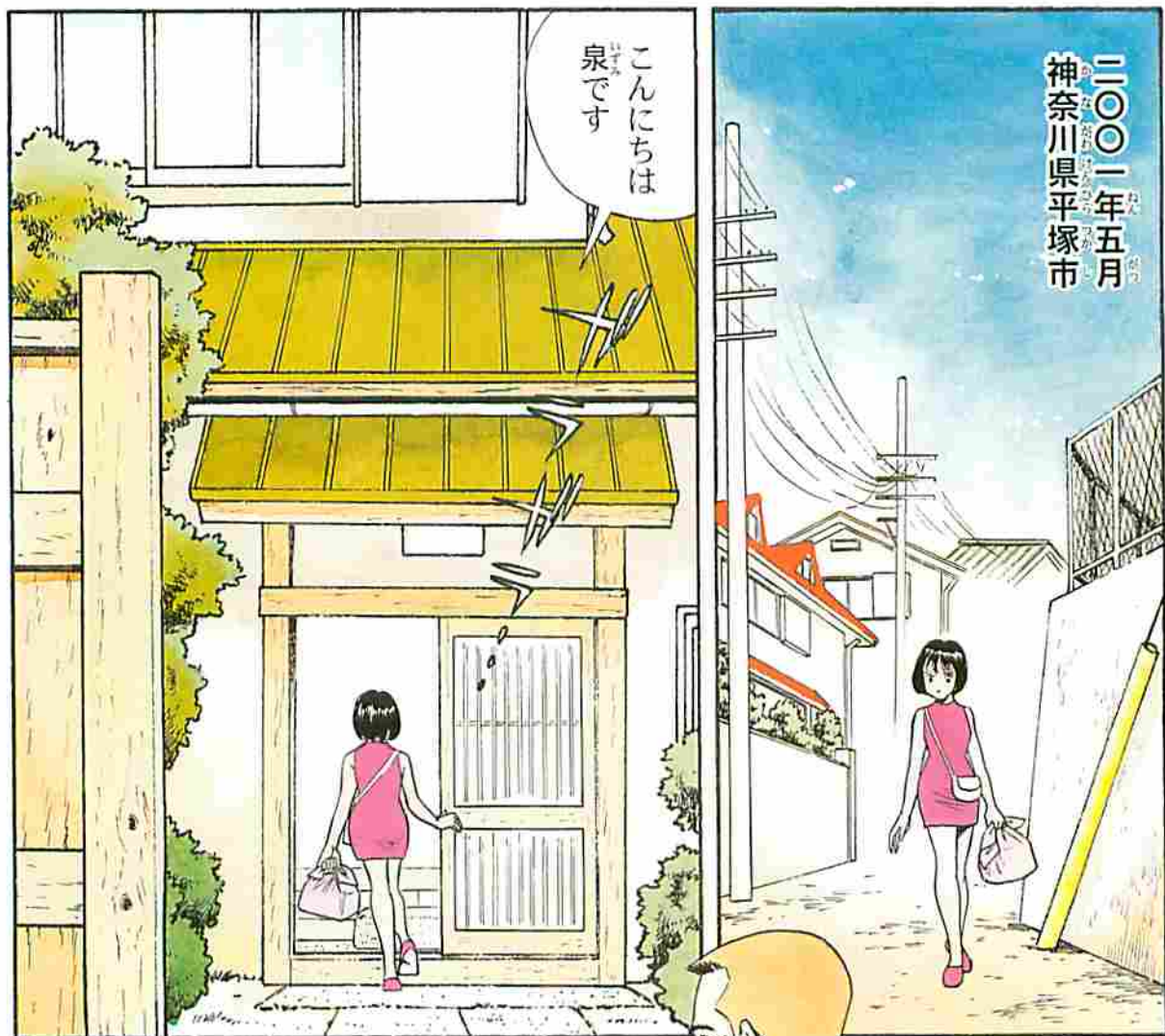


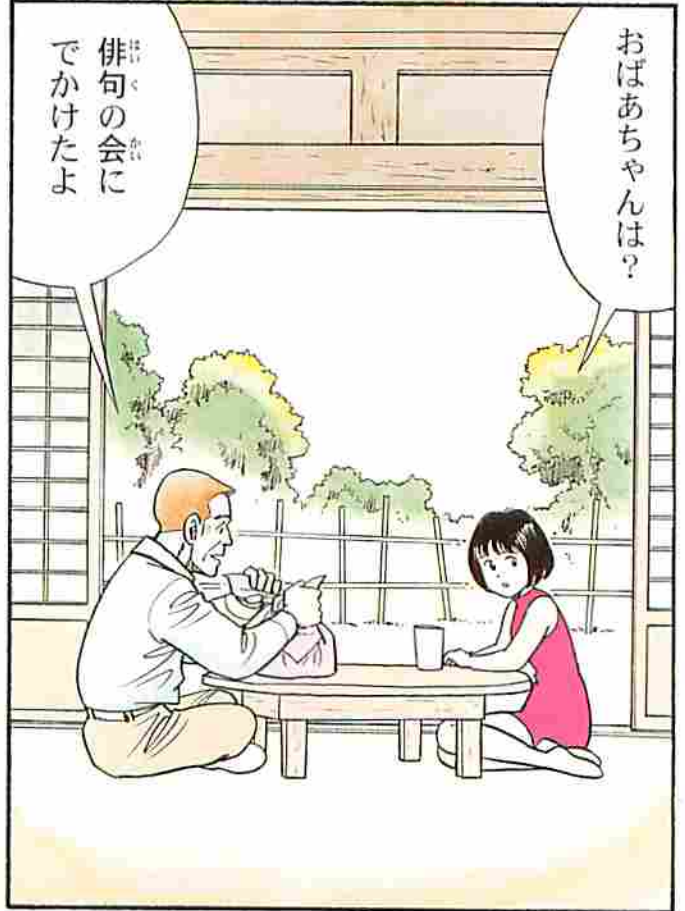
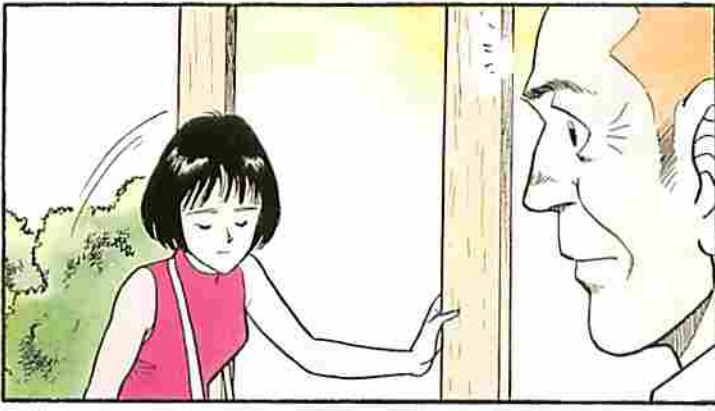
画・守谷哲己

太平洋戦争地図



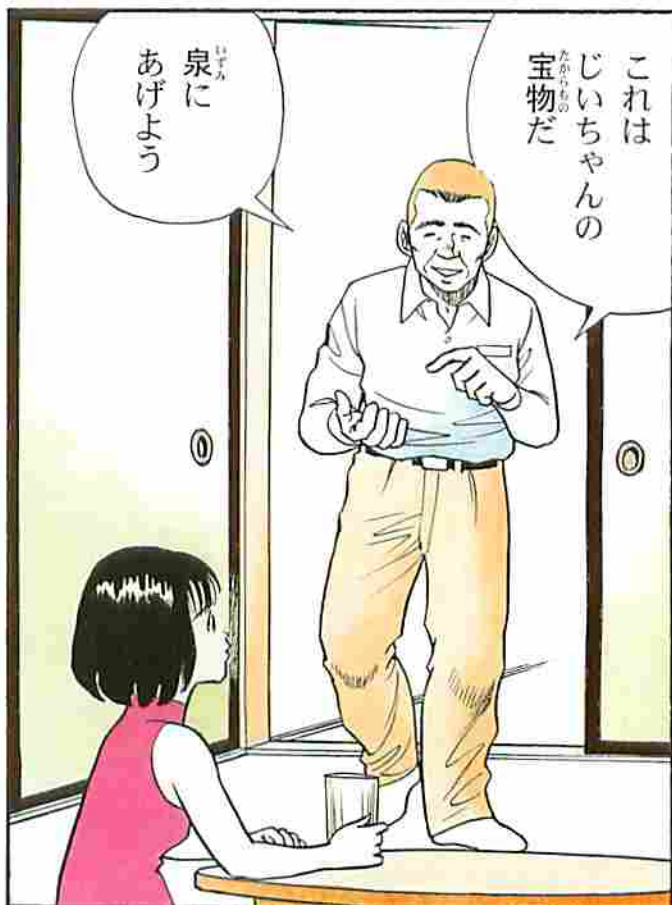
第1章 緑に染まる季節







何これ…?



これは
じいちゃんの
宝物だ

泉に
あげよう

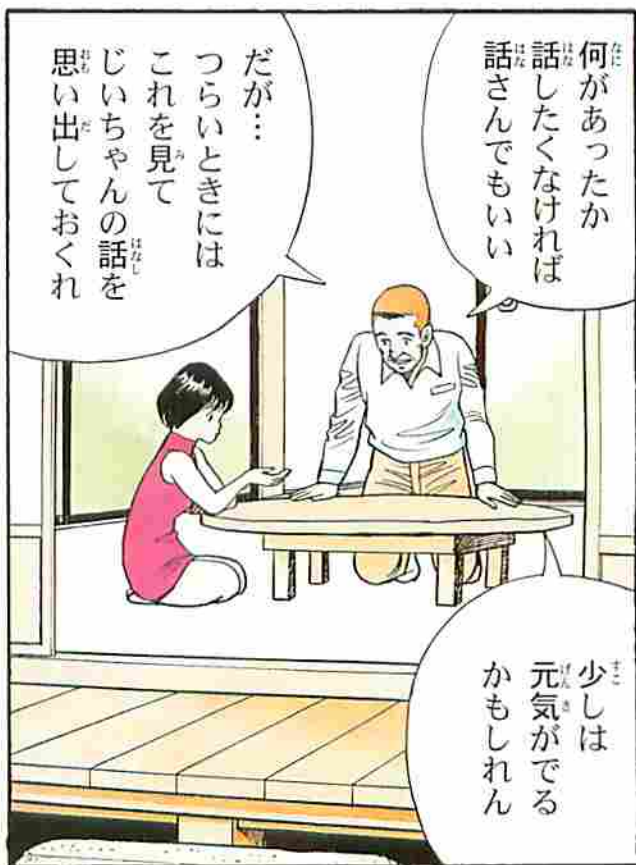


これをもつてると
勇気がでるんだよ



昔日本が
戦争をしていたことは
知ってるな

うん

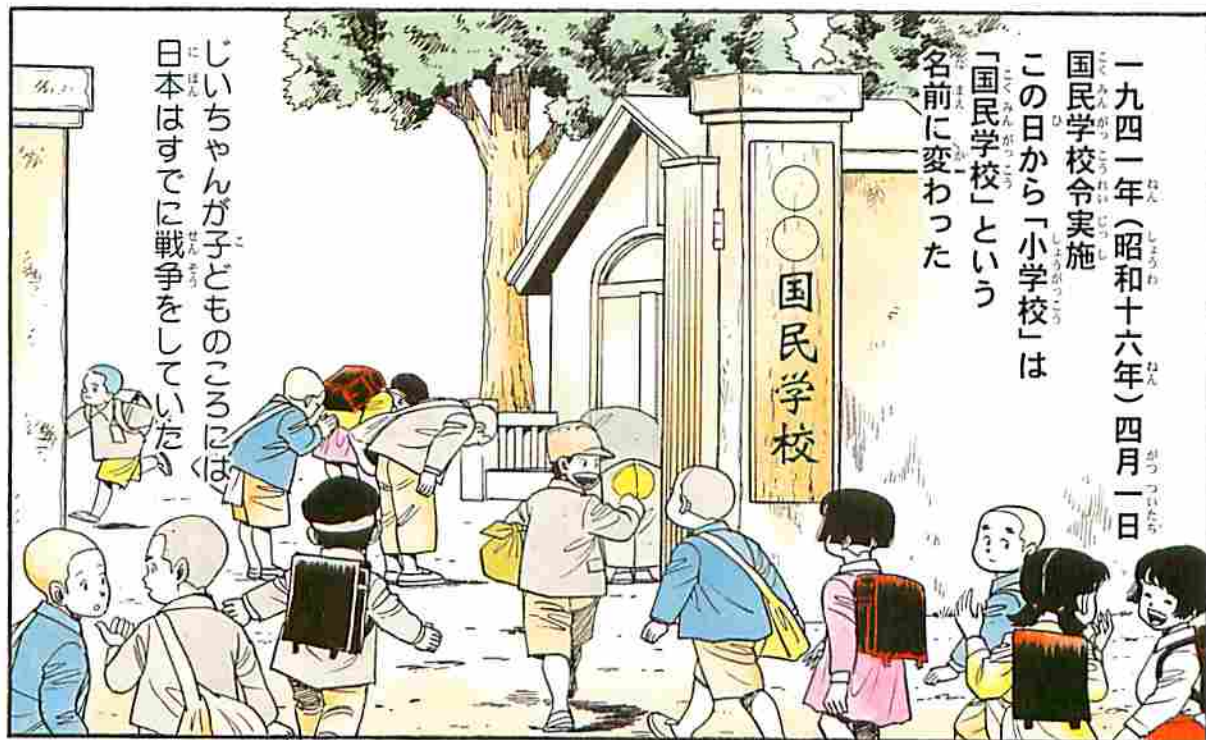


何があったか
話したくなければ
話さんでもいい

だが：
つらいときには
これを見て
じいちゃんの話
思い出しておくれ

少しは
元気がでる
かもしれん

第2章 灰色の生活




国民学校 こくみんがっこう

昭和十六年4月、「小学校」は「国民学校」という名称に変わりました。それにと
もない教科書も、軍国主義の考え方が強い内容になりました。

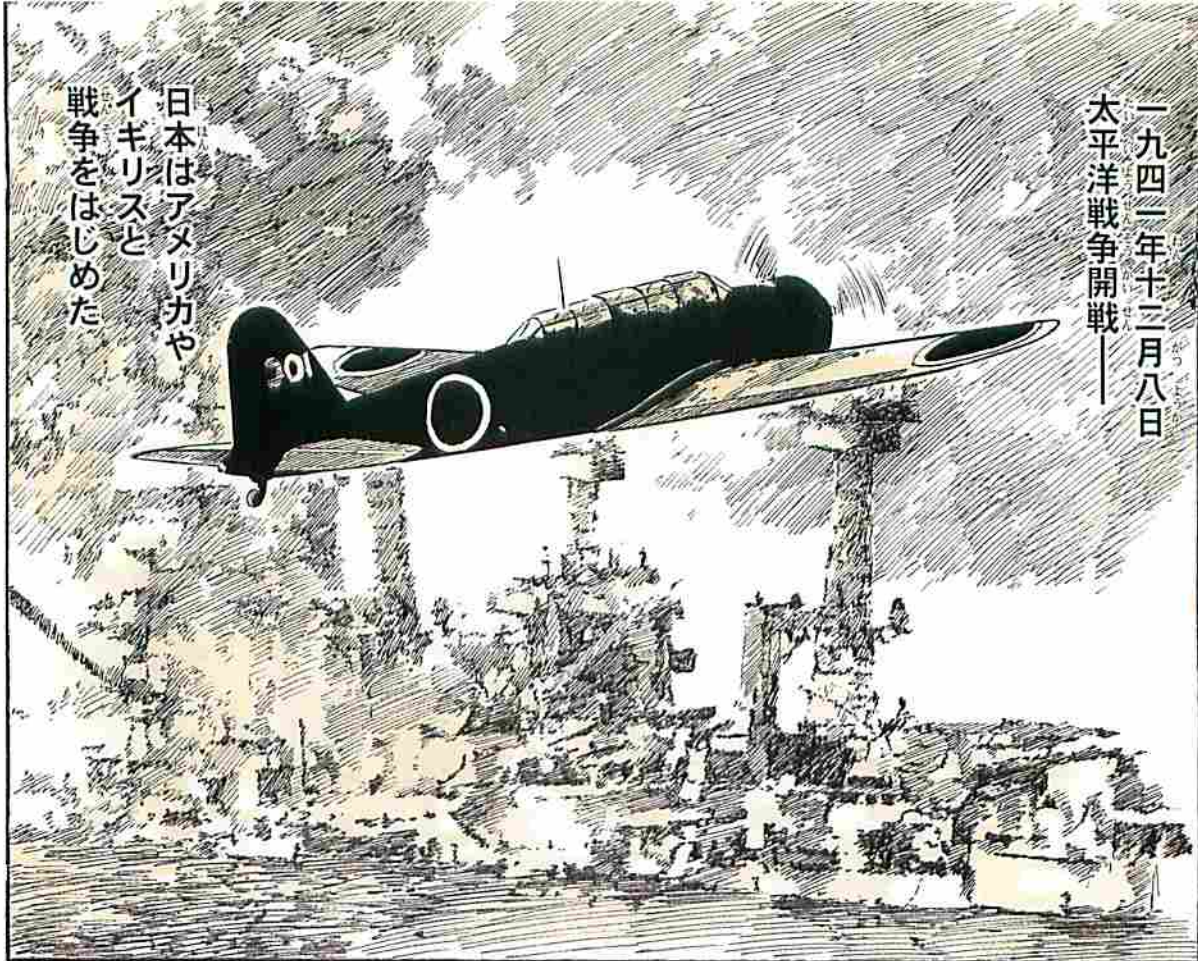
子どもたちの学校生活も国民学校になって目に見えて変わっていきました。国民学校の特色としては、儀式や行事などの団体訓練が重視され、歩き方や姿勢などの日常の細かい身のこなしまで規則にしばられました。また、学校生活全体が軍隊式になり、体罰が当然のように行われ、なぐって教えることがよくと考える先生も多くいました。

「小学校は「国民学校」と名前を変えた



一九四二年十二月八日
太平洋戦争開戦——

日本はアメリカや
イギリスと
戦争をはじめた



臨時ニュースを
申しあげます！
臨時ニュースを
申しあげます！



大本営陸海軍部発表
「帝国陸海軍は
本八日未明 西太平洋に
おいてアメリカ
イギリス軍と
戦闘状態に入れり！」

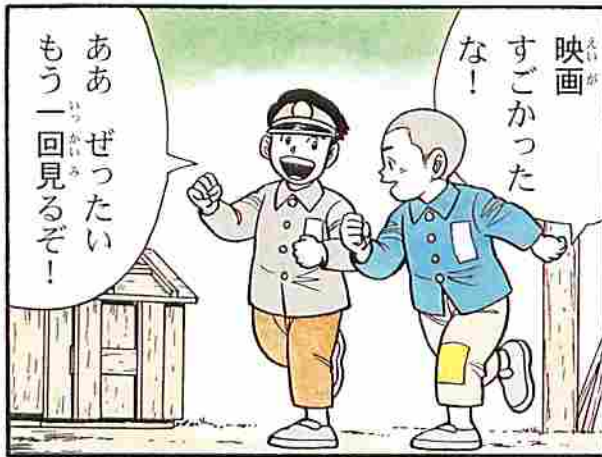
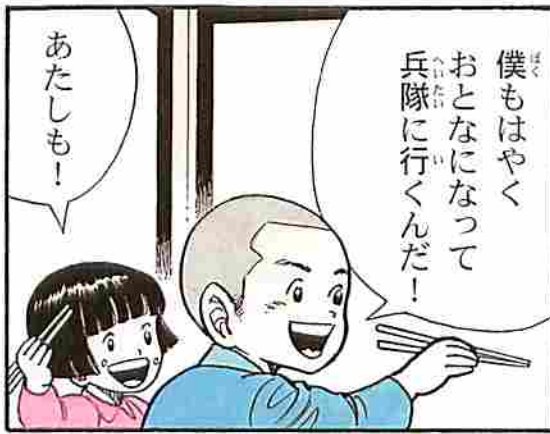
いよいよ
はじまったか

えっ
何？

戦争だよ
アメリカや
イギリスを
やっつけ
るんだ！

やった！
やっぱり日本は
強いんだ！





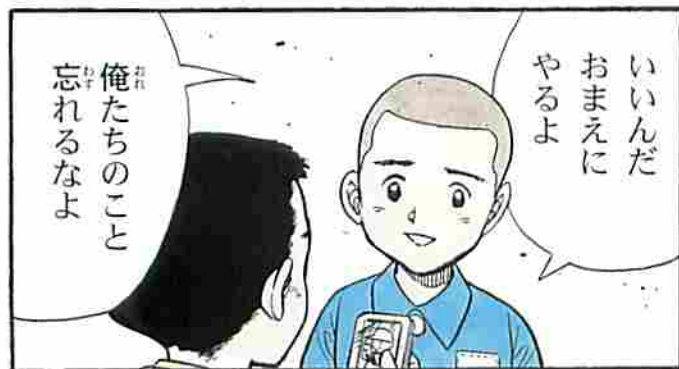
映画館のある町は大ぜいの人でにぎわつた

戦争映画

戦争中は、映画を見るのがみんなのいちばんの楽しみでした。新しい映画がはじまると、その映画館の前には行列ができました。

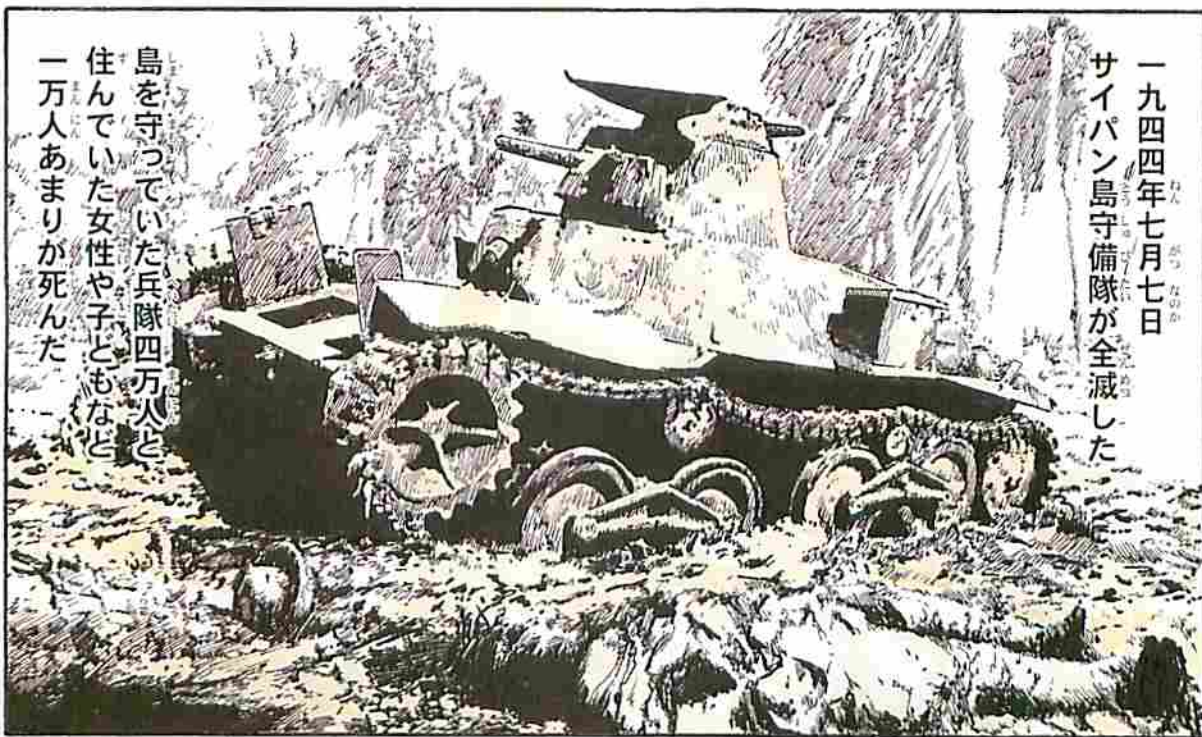
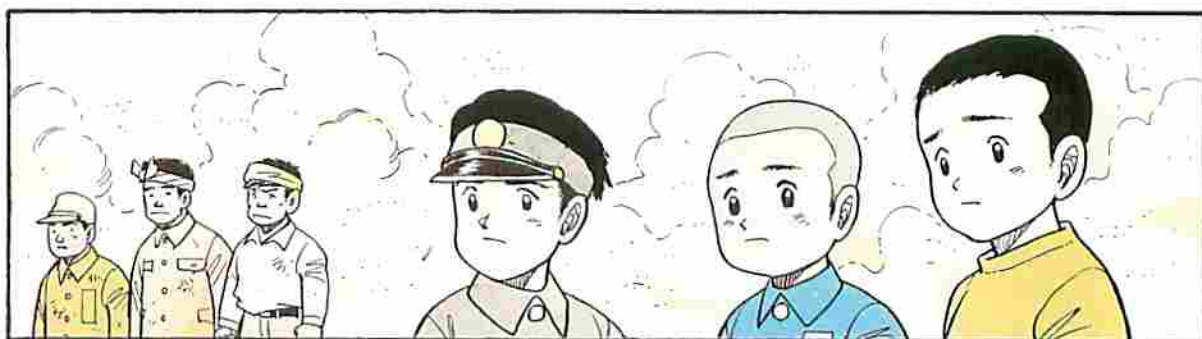
しかし、いまのように好きなテーマで映画をつくる自由はありませんでした。一般の人たちが映画を見る前に、国の考え方にあつているかどうかを調べる検閲があり、許可されないとなれば見ることができませんでした。

そのため、映画会社は、戦争を美化する映画をたくさんつくりました。そして、戦争映画を見た子どもたちは、軍隊へのあこがれを強くしました。



町の人みんなが手伝って家を取りこわした

建物疎開
 戦況が悪化し、アメリカ軍による大空襲が避けられないと判断した政府は、都市部の人間や建物を地方に移すことにしました。建物疎開とは、空襲のときに消火活動などがしやすいよう、建物を強制的に取りこわすことです。その対象となったのは、都市の密集地や軍の工場などの周辺の建物でした。建物疎開命令が出されると、国のためにすぐ立ちのかわくことはいけません。東京の場合、約5万8千5百戸の家族が住みなれた家を取りこわされました。



今日は みなさんに
残念なお知らせが
あります

サイパン島が
玉砕しました

しかし
日本はこの戦争に
必ず勝ちます

戦地で苦勞されている
兵隊さんのことを思えば
どんなことも
がまんできるはずですよ

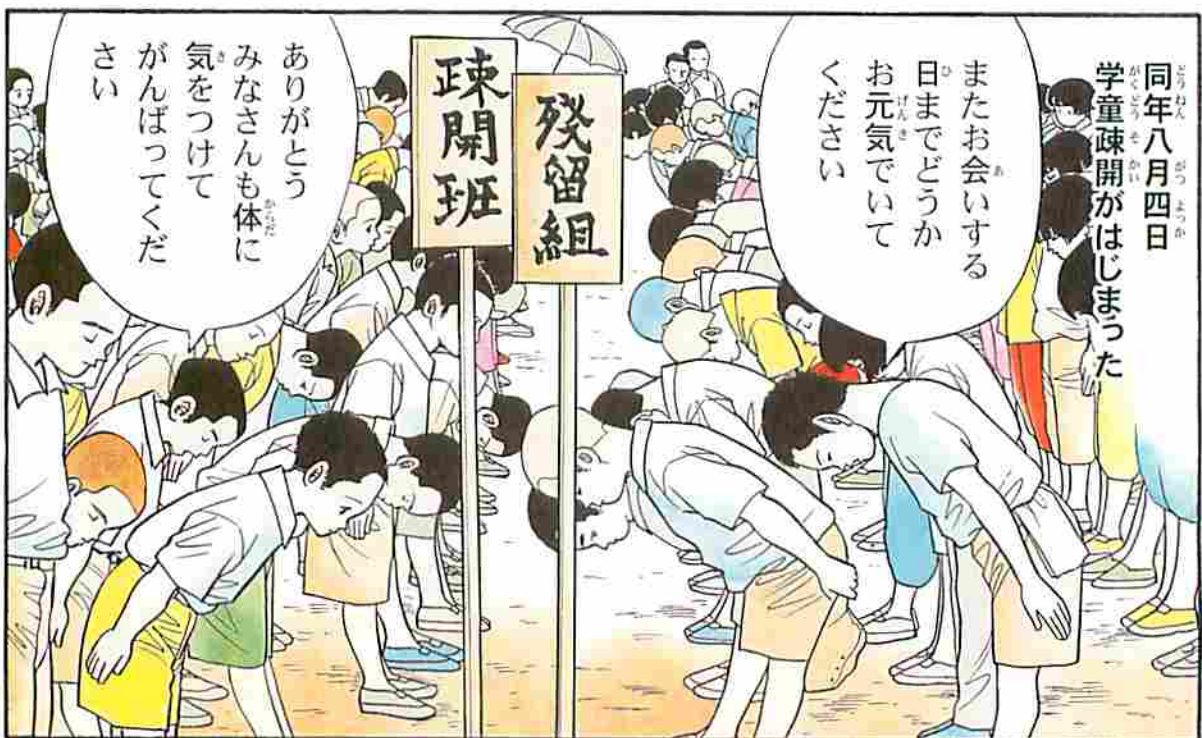
先生はみなさんが
立派な小国民だと
信じています！



同年八月四日
学童疎開がはじまった

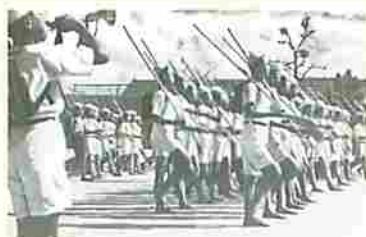
またお会いする
日までどうか
お元気でいて
ください

ありがとう
みなさんも体に
気をつけて
がんばってください
さい

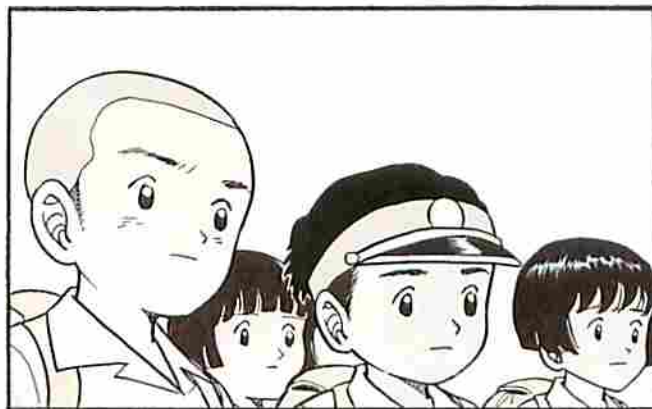
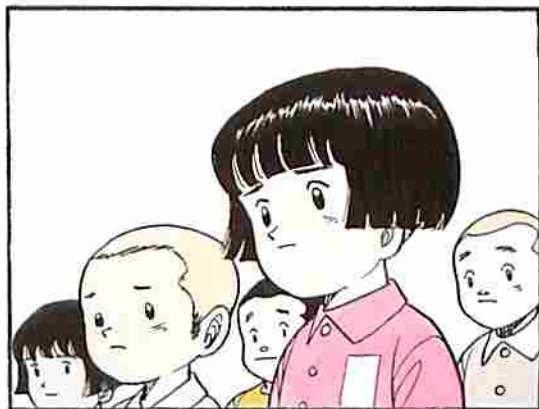


小国民

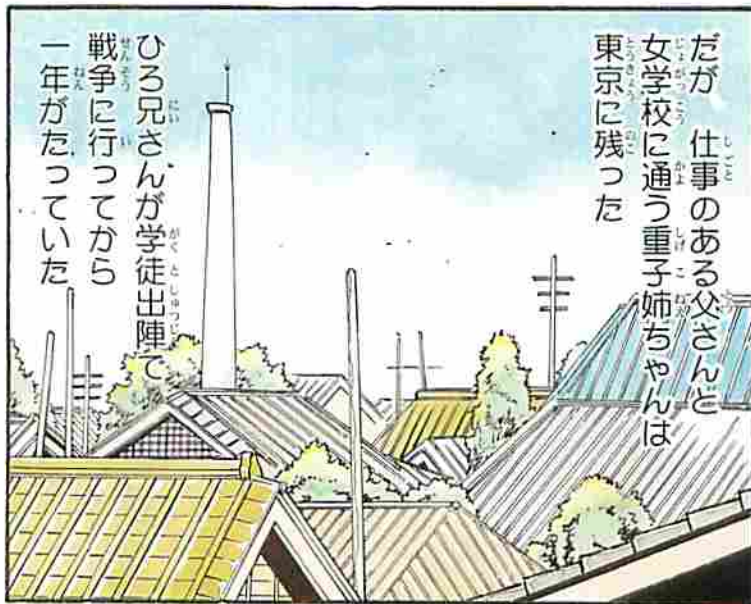
小国民というのは、小学
生くらいの年少の国民と
いう意味ですが、天皇陛下
に仕える小さな国民とい
う意味を含んでいました。
子どもたちは、将来の日
本をせめて立つ「未来の
兵隊」として育てられま
した。当時は戦場で勇敢に
死んでいくことが、立派な
生き方と教えられました。
戦争に反対することを
許さない徹底した軍国教
育が、全国すみずみまで行
われていたので、多くの国
民はたとえ何があっても、
日本は戦争に勝つと信じ
ていました。



学校では軍隊のような訓練をうけた



一九四四年十月
わが家も祖母の実家のある
神奈川県平塚市に疎開する

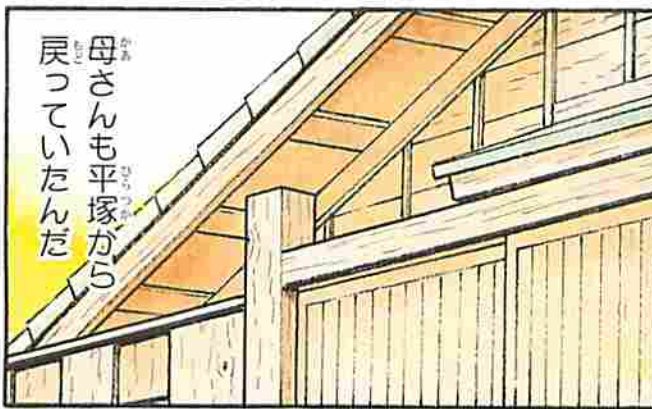


だが 仕事のある父さんと
女学校に通う重子姉ちゃんは
東京に残った

ひろ兄さんが学徒出陣で
戦争に行つてから
一年がたつていた



あの日 私は国民学校の
卒業式のために疎開先
から帰ってきていた



母さんも平塚から
戻っていたんだ

灯火管制

戦争中は、夜になつても町は暗いままでした。灯火管制といって、光を家の外にもらさない決まりになつていました。あかりが見えて、敵が空襲したときの目標にならないようにしたのです。

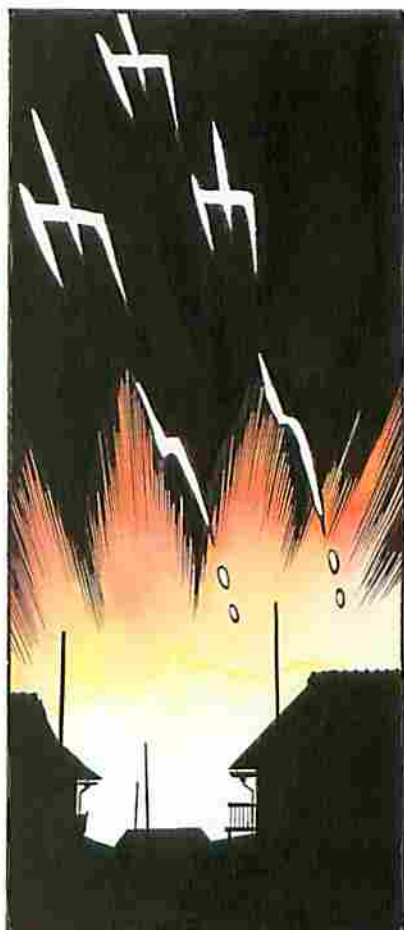
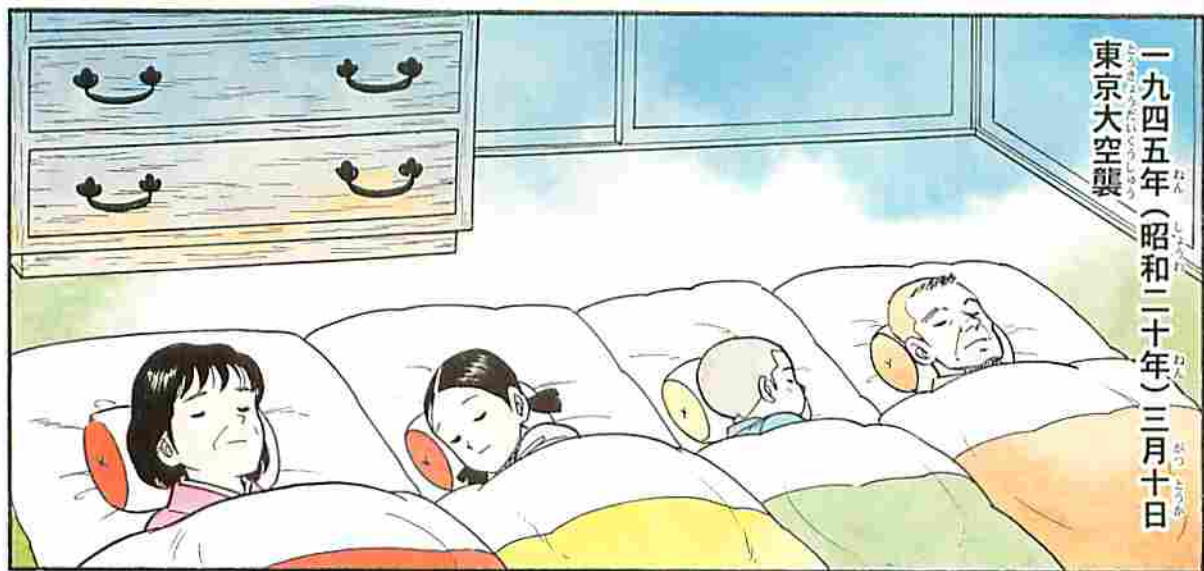
真下だけ明るく照らすように電球面に塗料を直接塗った電球や、外に光がもれないようにした商店用の電球などがありました。一般の家では、黒い布で電灯のまわりを囲んだり、防空用の電灯カバーをかぶせたりして、窓にも黒いカーテンをひきました。わずかな明るさのなかで、ぬい物や勉強をしたのです。

電灯は黒い布などでおおった



第3章 ぐれないの夜空

一九四五年（昭和二十年）三月十日
東京大空襲





すごいっ
空が真っ赤だ！

どこも
燃えあがっている
ぞ！

火がこっちにも
くるぞ 逃げろ！



お母さん！

：そうね
逃げましょう！



このままじゃ
火につつまれる
焼け死んじやう
よ！



敦
はやく中に
入りなさい
火が近づいてくる
ここにいちや
危ないよ！！



きゃあああ

ぐわああつ

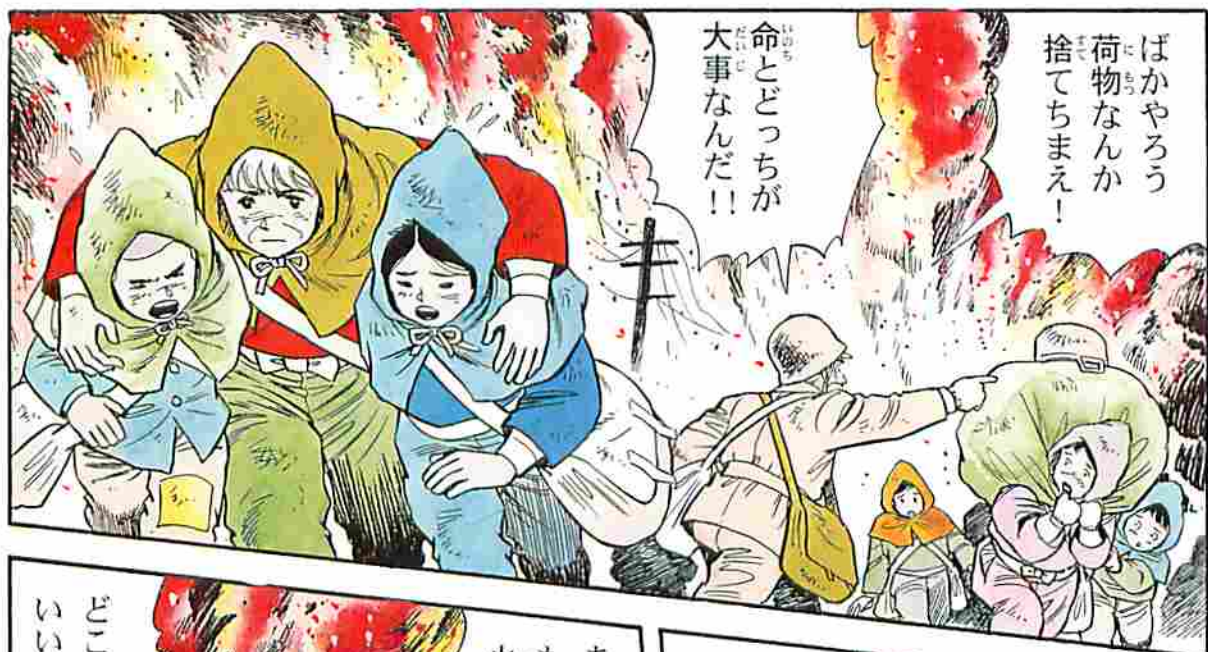


熱いよオ
お母ちゃん

ひいっ



離れないで!!



ばかやろう
荷物なんか
捨てちまえ！

命とどっちが
大事なんだ！！



お母さん
息ができない！

もう少しよ
がんばって

ああつ
もう まわり中が
火の海だアー！！

どこへ逃げたら
いいんだああつ？！



大丈夫よつ
あんたたちを
死なせやしない！

母さんが
必ず守って
あげるから！

もう一度
父さんと会う
のよ！

だから
あきらめ
ないで！！

この夜 東京の下町は
炎の地獄となった
家が燃えあがり 町が焼け
人々が燃えた

炎は荒れ狂い
渦を巻き すべてを
焼きつくした

きゃああつ
助けて!!

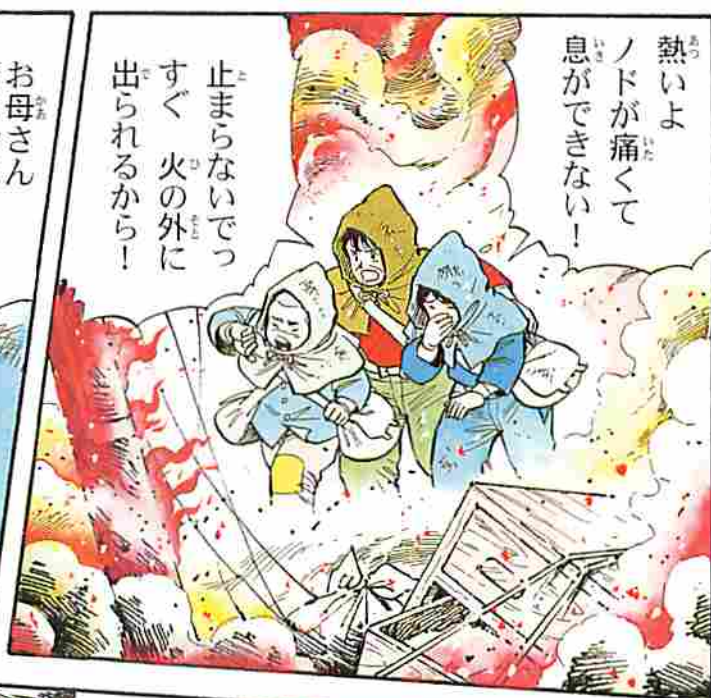
熱いっ
熱いよオオ

ああーっ



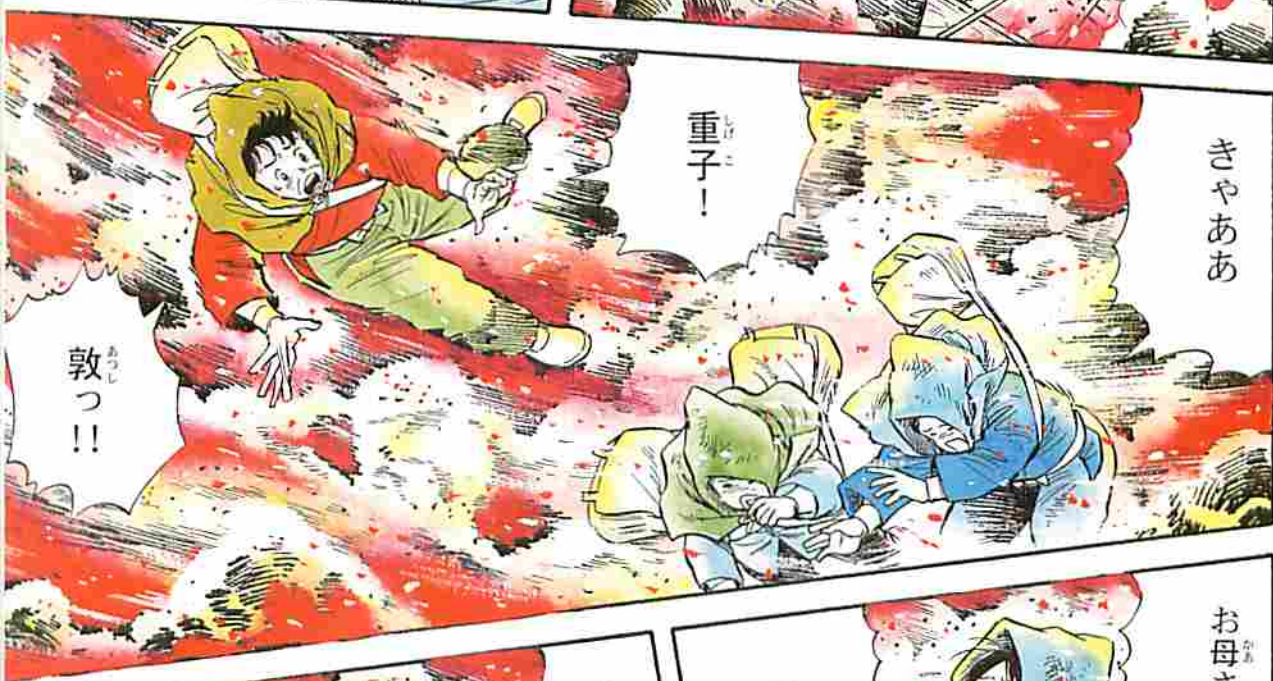
えっ!?

お母さん
防空頭巾が
燃えてる!?



熱いよ
ノドが痛くて
息ができない!

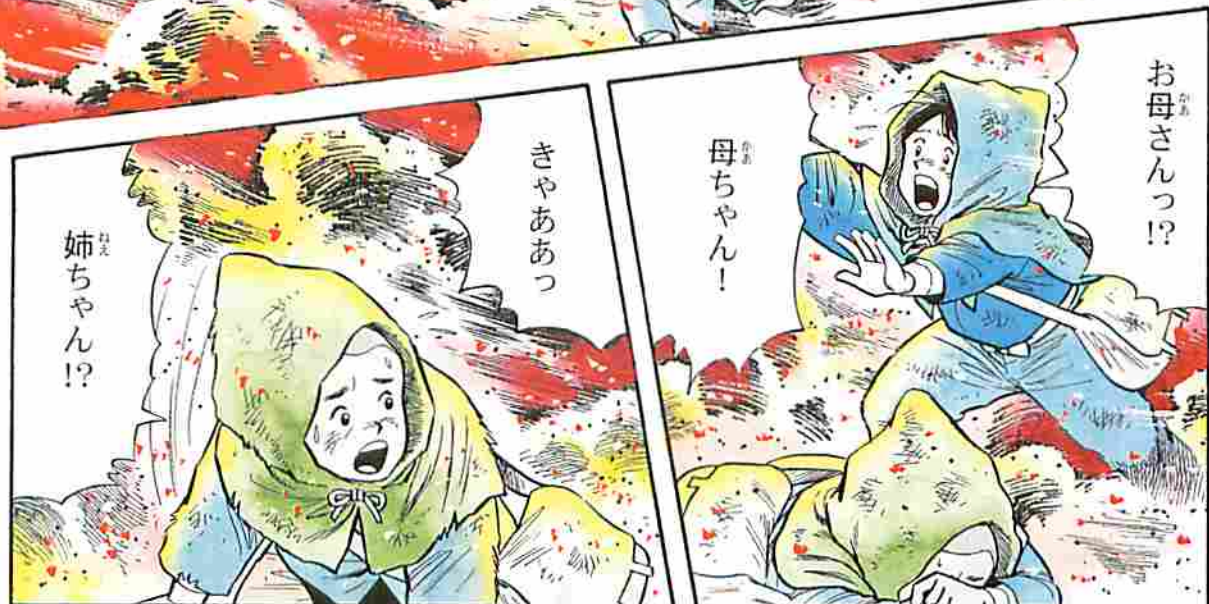
止まらないでっ
すぐ 火の外に
出られるから!



敦っ!!

重子!

きやああ



姉ちゃん!?

きやああっ

母ちゃん!

お母さん!?



うわっ



母^{かあ}ちやーんっ



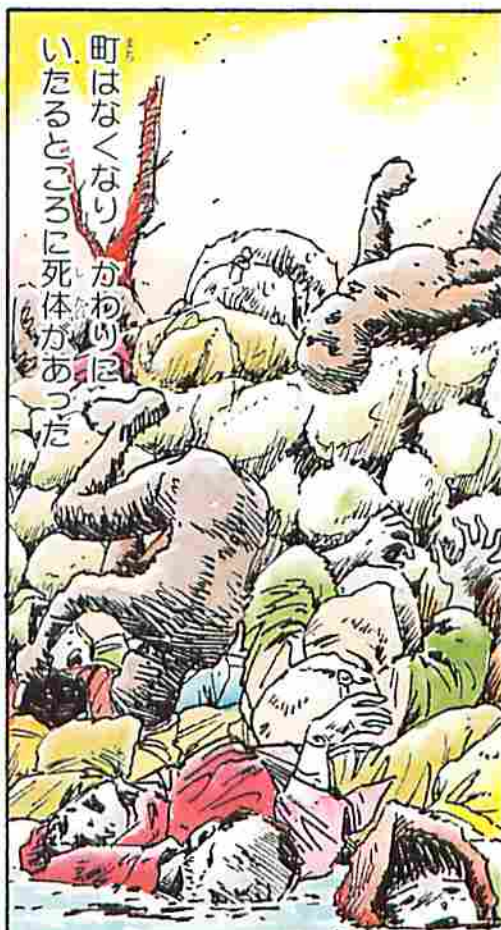
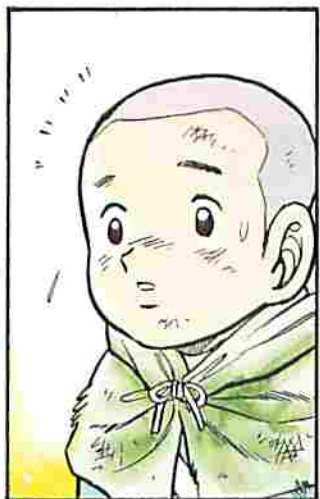
母^{かあ}ちやん？
姉^{あね}ちやん！

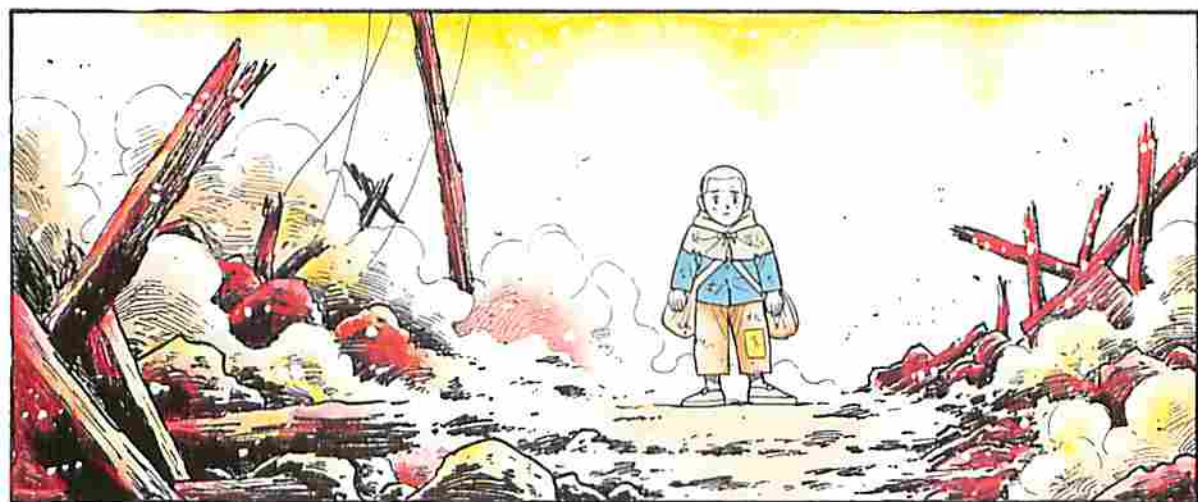
どこ
行ったの



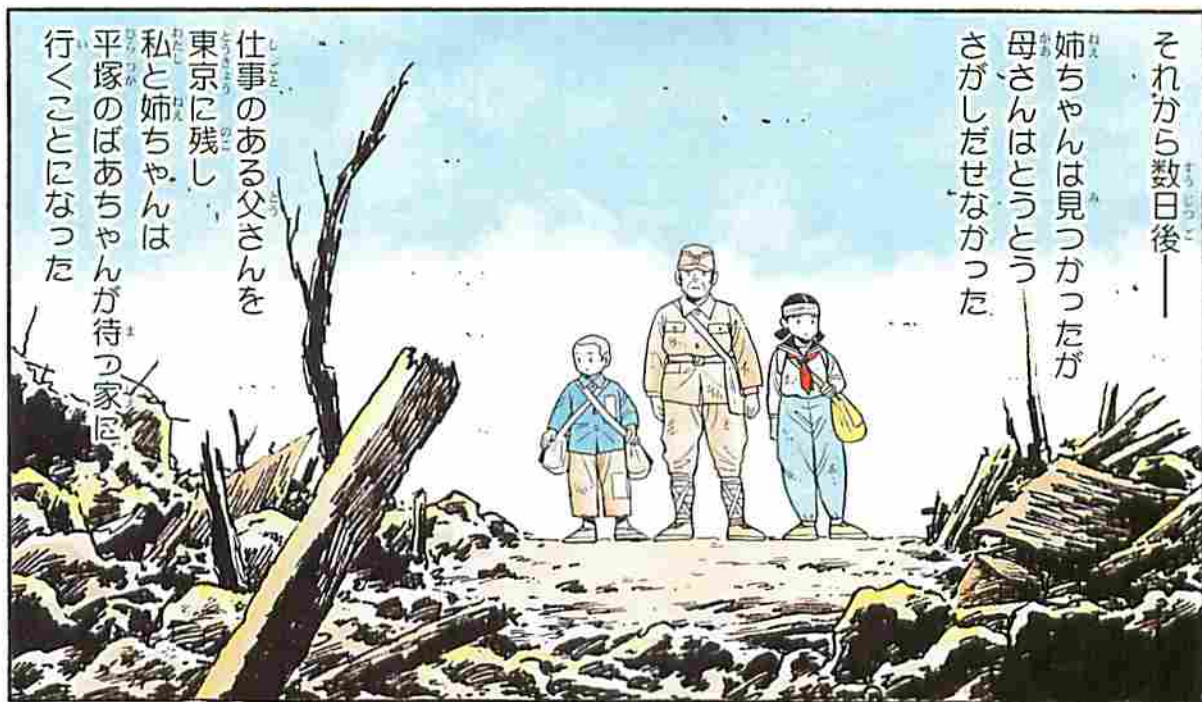
姉^{あね}ちやーん！！







第4章 静かなおわり



それから数日後——
姉ちゃんは見つかったが
母さんはとうとう
さがしだせなかった

仕事のある父さんを
東京に残し、
私と姉ちゃんは
平塚のばあちゃんが待つ家庭
行くことになった



私たちが暮らした
家も…町ごと
なくなっちゃっ
たね

いつか戦争がおわる
そしたら、また
ここに家を建てよう



空襲にあい、はだして避難する子どもたち

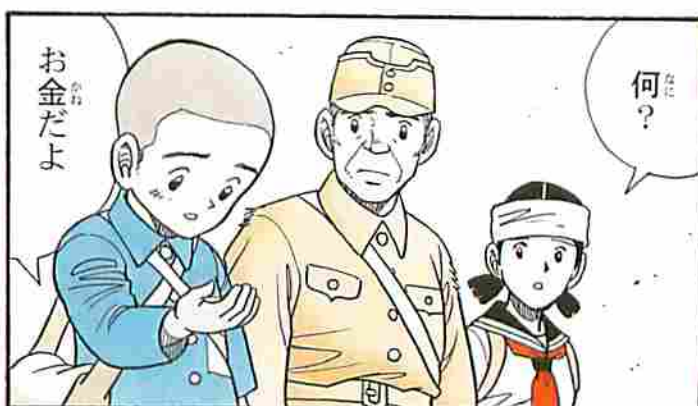
都市の空襲

東京大空襲を境に、アメリカの攻撃の考えが変わりました。軍の工場などを中心に爆撃していた集中攻撃から、都市そのものを焼きはらう無差別攻撃になったのです。

東京大空襲による死者は、約10万人(推定)といわれていますが、いままも正確な数字はわかりません。東京の下町を一面の焼け野原にした3月10日の大空襲からわずか10日の間に、名古屋、大阪、神戸を焼き払いました。6月なかばまでには、横浜、川崎も焼きつくし、日本の六大工業都市は壊滅しました。



溶けて…
固まってる



お金だよ

何？



それほどの
すごい熱だっ
たんだ

むいいことを
するもんだ



平気よ
私が休んじや
みんなに迷惑が
かかるもの

おばあちゃんこそ
東京に行くんでしょ
気をつけてね



一九四五年八月 神奈川県平塚市

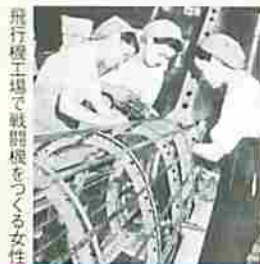
けほっ
けほっ
けほっ

重子や 今日
工場を休ませて
もらったらどうだい？

女子挺身隊

若い男の人たちがたくさん戦地に行ったので、働く人が足りなくなりました。それをおぎなうために、政府は法律をつくって、結婚をしていない女性を働かせました。

「白紙」と呼ばれた用紙一枚で集められた女性は、女子挺身隊という組織に入れられました。女性たちは、おもに戦争に必要な武器をつくる軍需工場などで安い賃金で働かされ、生産を支えることになりました。そういう工場は、とくに空襲の目標とされたので、多くの女性の命がうばわれました。



飛行機工場で作る戦艦機をつくる女性



一杯の雑炊を食べるためにも長い列ができた

すいとん

「すいとん」とは、小麦粉を水でこね、だんごにして、みそ汁などに入れて煮たものです。当時は主食としてよく食べられました。食糧事情が悪くなり、小麦粉が手に入らなくなると、ワカメやコンブなどの海藻の粉でだんごをつくり、「すいとん」をつくりました。

おいしくはありませんでしたが、みんないつもおなかをすかせていたので文句はいえませんでした。白いごはんは特別なことがない限り、なかなか食べるのができなかったからです。



地方の空襲

太平洋戦争では、日本本土が初めて空襲をうけ、「戦場」となりました。戦地に行った兵隊だけでなく、武器を持たない子どもたちも敵とみなされたのです。攻撃をうけたのは、都市部だけでなく、日本のほとんどの地域が空襲にありました。

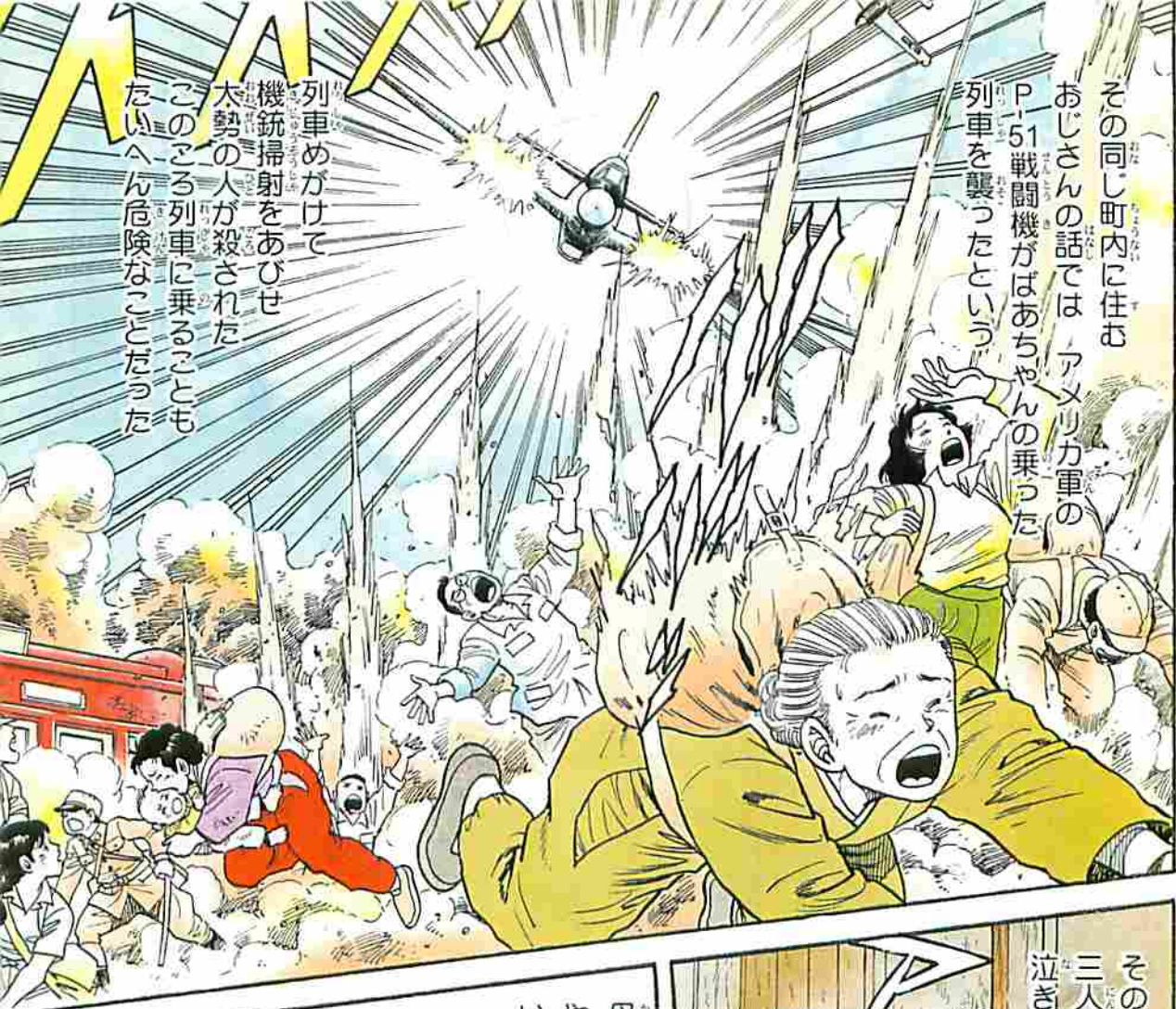
空と海の両方から攻撃された町もあります。空から戦闘機の機関砲でうたれたり、海からは戦艦の大砲で攻撃をうけたのです。また、わざわざビラをまいて空襲を予告された町もあります。



海から日本を攻撃するアメリカの戦艦

その同じ町内に住む
おじさんの話では、アメリカ軍の
P-51戦闘機がばあちゃんに乗った
列車を襲ったという

列車めがけて
機銃掃射をあびせ
大勢の人が殺された
このころ列車に乗ることも
たいへん危険なことだった



その夜
三人は抱き合ひて
泣きあがした



母ちゃんだけじゃなく
やさしかつたばあちゃんも
いなくなってしまうた

ひろ兄ちゃんも
戦争に行った
きりだし…

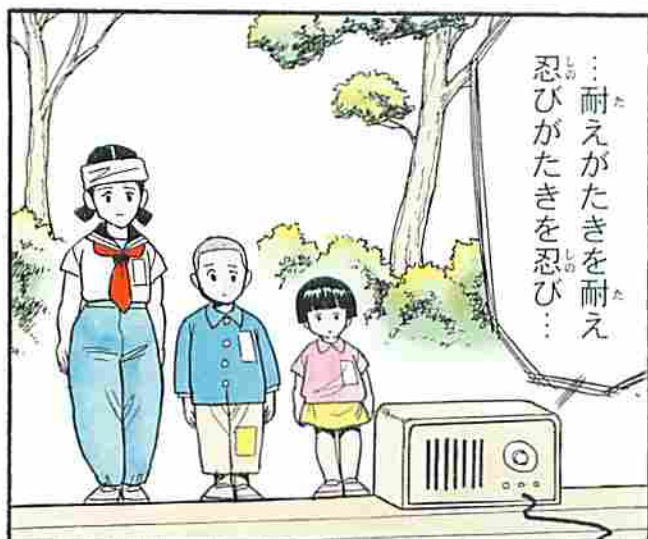


父さんが迎えに来て
くれるまで三人で
暮らしていかなくては
ならない…

心細くてな…



一九四五年八月十五日
その夜からわずか数日後に
戦争は終わった



結局：
母さんは
見つからな
かった

一年後：
あきらめて
お葬式をし
たんだ

ひろ兄ちゃんも
戦地で死んでしまったし
重子姉ちゃんまで戦後すぐ
結核で亡くなったんだ

大切な人が
次々に殺され
家も町も焼かれ：

そんな戦争が
この国にあった
んだよ

なんか：
日本がそんなだった
なんてウソみたい

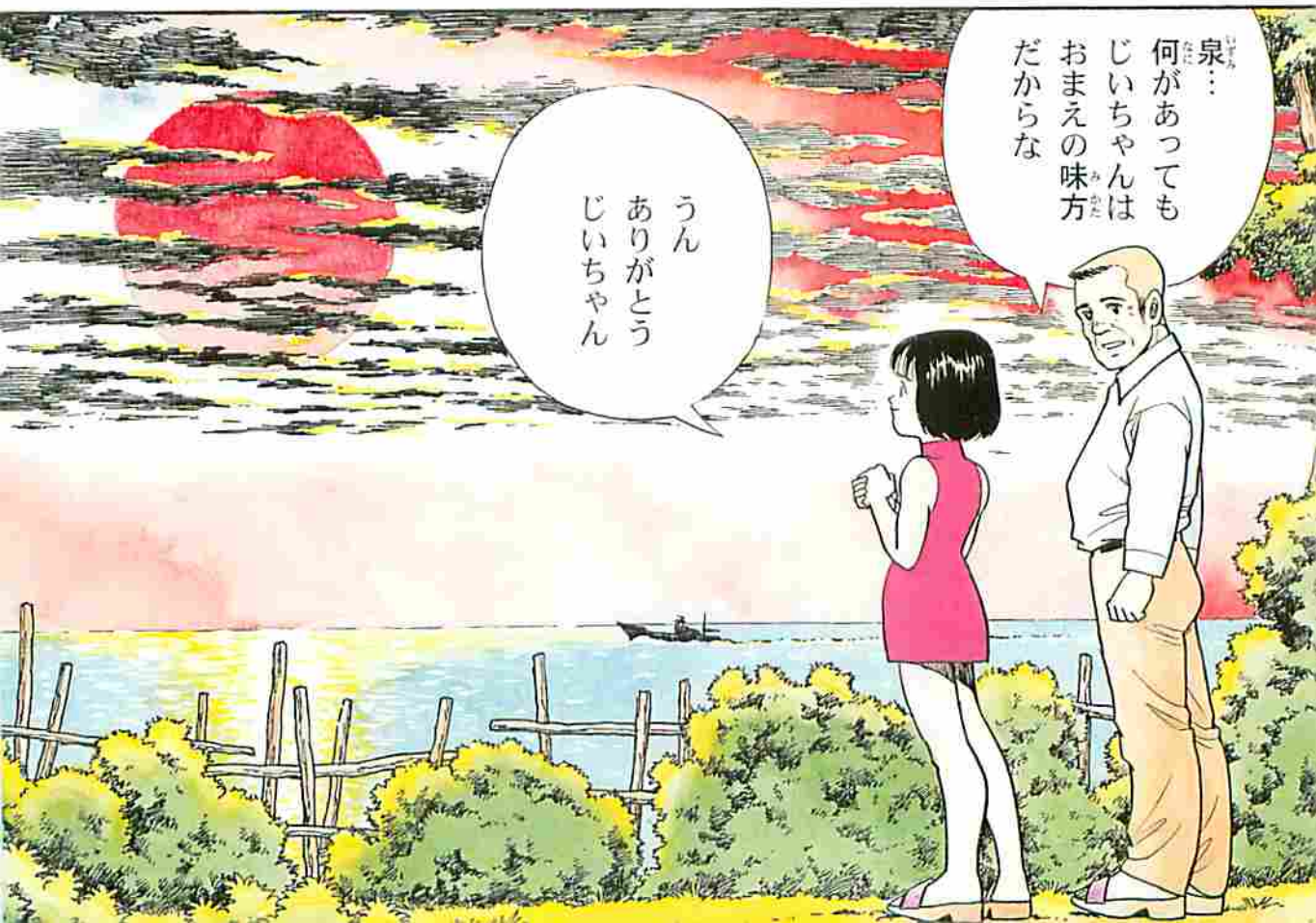
戦争なんて
別の世界のこと
だと思ってた

そうじゃない

昔 戦争が
あつていまの
平和があるんだ

死ななくていい
人が大勢死んで
しまった：

戦争がおわったあとも
大変だったんだ 生き
残った人もつらかった



おもなできごと

1931年〔昭和6年〕満州事変が起こる。

このころから軍人が力をもちはじめる。

1932年〔昭和7年〕5・15事件、海軍の将校らが犬養毅首相を暗殺する。

政党政治が終わり、さらに軍人の力が強まる。

1933年〔昭和8年〕日本は国際連盟を脱退。

1936年〔昭和11年〕2・26事件、陸軍の青年将校たちが高橋是清蔵相らを暗殺する。

1937年〔昭和12年〕日中戦争がはじまる。

民主主義や自由主義の思想への弾圧がはじまる。

1938年〔昭和13年〕国家総動員法の制定で総力戦体制が強まる。

1940年〔昭和15年〕日独伊三国同盟が結ばれる。

1941年〔昭和16年〕小学校が国民学校と名前が変わる。

日本の海軍がハワイの真珠湾を攻撃する。太平洋戦争がはじまる。

1942年〔昭和17年〕アメリカ軍機が日本をはじめて空襲する。

日本の艦隊、ミッドウェー海戦でやぶれる。

もの不足のために配給制度が強められる。

1943年〔昭和18年〕ガダルカナル島の日本軍が撤退をはじめる。

中学生以上の学生や女学生が武器をつくる工場などで働かされる。

大学生も学業のとちゅうで戦地に行くようになる(学徒出陣)。

1944年〔昭和19年〕大都市では国民学校の子どものための集団疎開がはじまる。

サイパン島の日本軍が全滅する。

1945年〔昭和20年〕東京などが大きな空襲にあい、焼け野原になる。

広島・長崎に原子爆弾が落とされる。

日本、ポツダム宣言を受け入れて降伏する。

空襲にあったまち

1942年(昭和17)の4月から戦争が終わった1945年(昭和20)の8月までのあいだ、日本国内の以下のような場所が空襲にあいました。ひとつの場所で何回も空襲にあった町もあります。このほかにも規模の小さなもの、軍の施設が爆撃されたものなど、実際にはもっと多くの空襲がありました。この空襲で50万以上の人が亡くなりました。

- | | | | | | |
|------|-------|------|-------|------|-------|
| ▼北海道 | ▼群馬県 | ▼福井県 | ▼滋賀県 | ▼山口県 | ▼熊本県 |
| 旭川市 | 前橋市 | 福井市 | 大津市 | 下関市 | 熊本市 |
| 室蘭市 | 高崎市 | 敦賀市 | ▼大阪府 | 宇部市 | 荒尾市 |
| 釧路市 | 桐生市 | ▼山梨県 | 大阪市 | 山口市 | 宇土市 |
| 帯広市 | 伊勢崎市 | 甲府市 | 堺市 | 徳山市 | ▼大分県 |
| 根室市 | 太田市 | ▼長野県 | 豊中市 | 防府市 | 大分市 |
| 本別町 | ▼埼玉県 | 長野市 | 高槻市 | 下松市 | 別府市 |
| ▼青森県 | 川越市 | 上田市 | ▼兵庫県 | 岩国市 | 中津市 |
| 青森市 | 熊谷市 | ▼岐阜県 | 神戸市 | 小野田市 | 日田市 |
| ▼岩手県 | 川口市 | 岐阜市 | 姫路市 | 光市 | 佐伯市 |
| 盛岡市 | ▼千葉県 | 大垣市 | 尼崎市 | ▼徳島県 | ▼宮崎県 |
| 花巻市 | 千葉市 | ▼静岡県 | 明石市 | 徳島市 | 宮崎市 |
| 釜石市 | 銚子市 | 静岡市 | 西宮市 | ▼香川県 | 延岡市 |
| ▼宮城県 | 船橋市 | 浜松市 | 芦屋市 | 高松市 | 日南市 |
| 仙台市 | 館山市 | 沼津市 | 伊丹市 | ▼愛媛県 | ▼鹿児島県 |
| 石巻市 | 木更津市 | 清水市 | 相生市 | 松山市 | 鹿児島市 |
| 塩竈市 | 松戸市 | 磐田市 | ▼和歌山県 | 今治市 | 川内市 |
| ▼秋田県 | ▼東京都 | ▼愛知県 | 和歌山市 | 宇和島市 | 串木野市 |
| 秋田市 | 区部 | 名古屋市 | 海南市 | 八幡浜市 | 阿久根市 |
| ▼山形県 | 八王子市 | 豊橋市 | 有田市 | 西条市 | 出水市 |
| 山形市 | 立川市 | 岡崎市 | 御坊市 | ▼高知県 | 指宿市 |
| ▼福島県 | ▼神奈川県 | 一宮市 | 田辺市 | 高知市 | 国分市 |
| 郡山市 | 横浜市 | 瀬戸市 | 新宮市 | ▼福岡県 | 西之表市 |
| いわき市 | 川崎市 | 豊川市 | 串本町 | 北九州市 | 垂水市 |
| ▼茨城県 | 平塚市 | ▼三重県 | ▼鳥取県 | 福岡市 | 喜入町 |
| 水戸市 | 藤沢市 | 津市 | 米子市 | 大牟田市 | 山川町 |
| 日立市 | 小田原市 | 四日市市 | 境港市 | 久留米市 | 額娃町 |
| ▼栃木県 | ▼新潟県 | 伊勢市 | ▼岡山県 | ▼長崎県 | 知覧町 |
| 宇都宮市 | 新潟市 | 桑名市 | 岡山市 | 佐世保市 | 東市来町 |
| 足利市 | 長岡市 | 上野市 | ▼広島県 | 島原市 | 東郷町 |
| 真岡市 | ▼富山県 | 鈴鹿市 | 呉市 | 諫早市 | 始良町 |
| 田沼町 | 富山市 | | 福山市 | 大村市 | |

◎昭和54年3月内閣総理大臣官房管理室編「全国戦災史実調査報告書」

●この物語は戦争の悲惨さを次の世代に伝えるために、事実に基づいて制作したフィクションです。したがって、この物語に登場した人物や団体などは実在しません。

写真提供・毎日新聞社



この本を読んで、感想や作文をお寄せください

社団法人 日本戦災遺族会

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-3 山京ビル4F TEL. 03-3264-5287

2000.12